

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

企画展 歿後30年 草野心平展 ケルルン クックの詩人、富士をうたう。

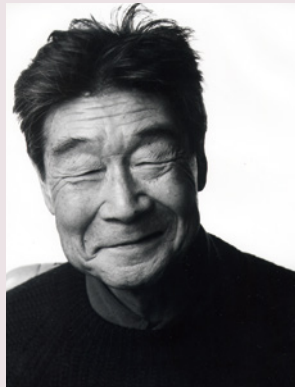
カエルと富士山をうたった詩人として知られる草野心平。詩「春のうた」は小学校教科書に採用され、カエルの鳴き声を表した「ケルルン クック」のフレーズは、多くの人々に親しまれています。心平を魅了し、創作の重要なテーマの一つとなったのが富士山です。富士山を数々の詩にうたい、書や絵画でもダイナミックに表現しました。

本展では、詩の原稿、書、絵画、写真など約250点の資料を通じて、今年、歿後30年を迎える草野心平の作品の世界と生涯を紹介します。

開催期間／～11月25日(日)

観覧料／一般600円 大学生400円

※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



草野心平(1903～1988)
(撮影 小林正昭)
(写真提供 いわき市立草野心平記念文学館)



草野心平画「空海富士」油彩
1968(昭和43)年(個人蔵)

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882

秋季企画展

うずまくみずのかたち

～水煙文土器の世界～

水煙文土器は、山梨を代表する縄文土器の一つで、渦巻く水煙を思わせる文様を特徴としています。

本展では、躍動感と高い芸術性を持つ水煙文土器を一堂に集め、山梨が誇る縄文の美をご覧ください。



水煙文土器
安道寺遺跡(甲州市)出土
(山梨県立考古博物館蔵)

開催期間／10月6日(土)～11月25日(日)

観覧料／無料

富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-2314
FAX 0555-72-2337

世界遺産富士山講座

忍野村の富士参詣路を歩く【野外講座】

世界遺産富士山の歴史や文化などを調査・研究し、その成果を新たな富士山の魅力として紹介しています。

今回は、野外講座として、元山梨県埋蔵文化財センター所長・新津健さんの案内で、富士信仰に関わる忍野村の旧跡を巡ります。



笹見原遺跡(忍野村)から富士山を望む

開催日時／10月20日(土) 午後1時30分～4時
参加料／無料

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

青少年のための科学の祭典 2018山梨大会

毎年恒例の科学のお祭りです。中学校、高校、大学、企業などのボランティアによるさまざまな科学ブースが出展し、工作や科学体験を通じて科学の面白さに触れることができます。ご家族そろってお楽しみください。



開催日時／11月17日(土)、18日(日) 午前9時30分～午後4時

参加料／入館料のみ

※土曜日は、高校生以下入館無料

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6206
FAX 0555-72-6183

もりのおはなしかい

幼児から小学校低学年の子どもたちに、絵本を通して自然に親しんでもらいます。「おはなしかい」の30分前には、おりがみ教室も開催します。

また、12月16日(日)には、「もりのクリスマスかい」を開催します。



森の中での読み聞かせ

開催日時／10月21日(日) 午前10時30分～午後2時～
参加料／無料

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

自然と共にある人の営みを生涯描き続けた画家ジャン＝フランソワ・ミレー、そして彼と共に活躍したバルビゾン派の画家たちの作品を収集・紹介してきた山梨県立美術館。開館40周年を記念し、新たに収蔵したミレー作品《角笛を吹く牛飼い》の展示を始めるとともに、バルビゾン派の画家シャルル＝フランソワ・ドービニーの国内初となる回顧展を開催します。身近な自然と肉薄することで生み出された2人の画家の作品の魅力をお楽しみください。

コレクション展A ミレー館 秋季

9月11日から公開した《角笛を吹く牛飼い》は、人物表現に主眼を置いていたミレーが、風景表現に重点を置き始め、新たな画風を展開していく転換期となる1850年代半ばに描かれたものと考えられています。一日の終わりの静かな時間に、角笛の音が響き、ゆったりと帰路につく牛たち。夕暮れ時の大気が見せる微妙な表情が、繊細で美しい色彩で描き出されています。暗く、重い印象を持たれることが多いミレーのイメージを払拭するような作品です。

特別展

シャルル＝フランソワ・ドービニー展

印象派の先駆として知られ、モネやゴッホといった後世の画家たちに高く評価されたドービニーの画業を紹介します。ドービニーの作品は、大胆な筆遣いを用いながらも、あたかも自然が目の前に広がるかのような表現が特長です。ダイナミックで迫力ある作品をぜひご鑑賞ください。

開催期間／コレクション展A ミレー館 秋季
～12月2日(日) ※その後も展示予定
特別展 シャルル＝フランソワ・ドービニー展
10月20日(土)～12月16日(日)
観覧料／コレクション展+特別展
一般1,260円 大学生590円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



ジャン＝フランソワ・ミレー《角笛を吹く牛飼い》
制作年不詳(山梨県立美術館蔵)



シャルル＝フランソワ・ドービニー《オプトゥヴォスの水門》
1856年(国内個人蔵)

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

企画展

文字が語る 古代甲斐国

近年、各地の遺跡で発掘されるさまざまな資料によって、日本古代史の新たな研究成果が相次いで発表されています。特に墨書土器や木簡などの出土文字資料は、古代の地域史研究に不可欠なものとなっています。

本展では、山梨の古代を物語る資料の中から、墨書・刻書土器や木簡、金石文や文献史料などの「文字」に着目し、新たに明らかになってきた古代甲斐国の姿や、他の地域との関わりなどを紹介します。

開催期間／10月13日(土)～12月3日(月)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



和歌刻書土器
ケカチ遺跡(甲州市)出土(甲州市教育委員会蔵)



国宝 山梨郡貢進物(胡桃子)付札木簡
平城宮跡(奈良県)出土(奈良文化財研究所蔵)